

施設の概要

① 東西自由通路 (幅5.4m)

エレベーター : 東口・西口各1基 (定員15人)
エスカレーター : 東口・西口各1基

② 橋上駅舎

エレベーター : 上り・下りホーム各1基 (定員11人)
エスカレーター : 上り・下りホーム各1基



明るく開放的な自由通路



橋上駅舎への階段と
上りエスカレーター

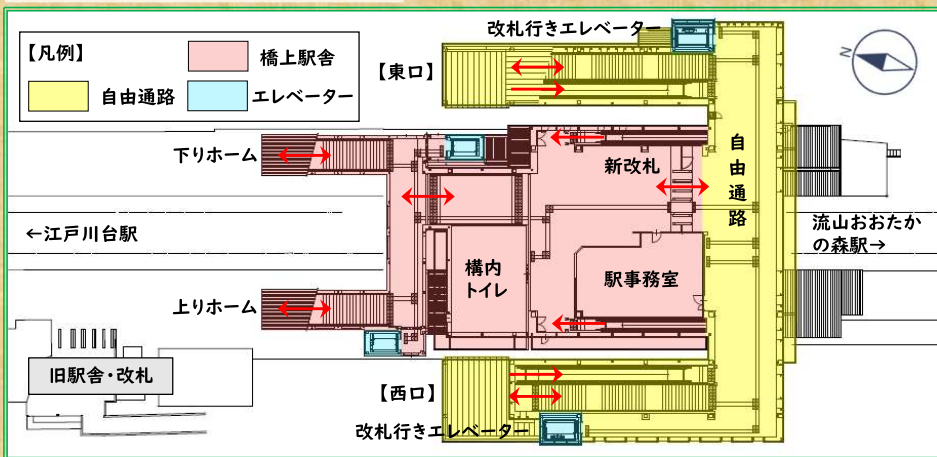


救急用ストレッチャーが入る
15人乗りのエレベーター



オストメイト付き多機能トイレ

初石駅 自由通路・橋上駅舎 平面図



完成 東武野田線初石駅 自由通路・橋上駅舎

～ 駅へのアクセス性向上へ～



令和7年12月21日(日)供用開始



流山市 まちづくり推進部 まちづくり推進課 交通計画推進室

流山市
Nagareyama City

都心から
一番近い
森
まち

目的と背景

東武野田線初石駅は、西側のみに改札口があり、東側からは交通量が多く狭い踏切を渡らなくてはならず、利便性向上を求める声が上がっていました。

平成30年6月、地元自治会と流山市議会議員有志から、「東口改札の早期設置」を求める1万2千名もの署名を流山市が受領し、市長自ら東武鉄道(株)に要望書を提出しました。

これを受け、駅東口の開設は「橋上駅舎と自由通路の整備」に方針を決定し、事業が動き出しました。



西側改札口に向かう踏切

事業の経過

明治44年	初石駅開業
≈	
平成30年6月	東口改札設置を求める署名を東武鉄道に提出
令和3年6月	東武鉄道と事業の基本協定締結
令和3年11月	実施設計開始
令和5年7月	東武鉄道と工事に関する施行協定締結
令和6年1月	工事開始
令和7年12月	初石駅自由通路・橋上駅舎完成



旧駅舎



自由通路と新駅舎

初石駅のデザインコンセプト

調和

住宅地に圧迫感を与えない調和したデザイン

視認性

アクセントを持たせた視認性の高いデザイン

シンプル

地域の顔として長く愛されるデザイン

東口



西口



初石駅 自由通路と橋上駅舎が完成するまで

基礎工事

令和6年1月～



掘削



杭設置



基礎構築

直径約0.8～1.4m、長さ約39mの杭を40本設置し、その上に建物の基礎を構築しました。

鉄骨工事

令和6年8月～



鉄骨組立



鉄骨組立(線路上空)



鉄骨組立

線路上空は、最終列車が通過した後、始発列車までの時間でクレーンにより鉄骨を組立てました。

内・外装、屋根等工事

令和7年2月～



内装工事(橋上駅舎)



内装工事(自由通路)



屋根工事

地域との調和を考慮するとともに、華美な材料は使用せず、メンテナンスのしやすさを重視しました。

完成・供用

令和7年12月



駅東口



駅舎内トイレ



駅西口



自由通路(改札前)